

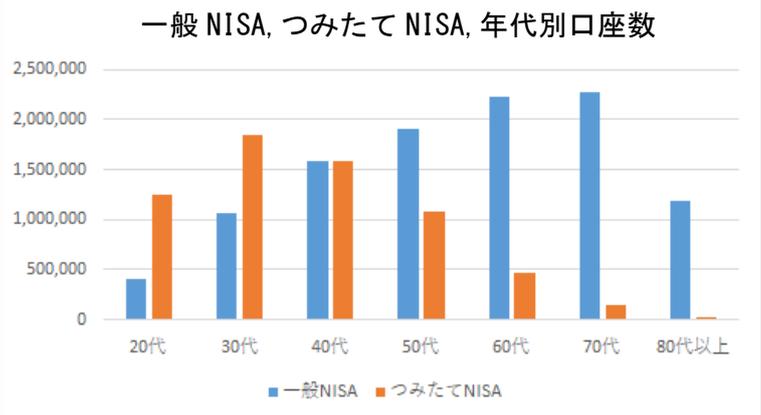
さくらマネー通信 No.65

2022年
12月号

～気軽に読めて役に立つマネー情報をお届けします！～

特集 ▶ 年代で使い方が大きく異なる、一般NISAとつみたてNISA！

2014年からスタートした一般NISA。そして、2018年からはつみたてNISAもスタートしました。制度スタートから年月も経ち、NISAもかなり浸透してきたように感じます。ただ、金融庁が発表しているNISA利用状況調査（2022年6月）から、年代でNISAの使い方には大きな違いが見えてきました。まず、一般NISAとつみたてNISAの年代別口座数を見てみると、20～30代はつみたてNISAが圧倒的に多く、50代以降は一般NISAが圧倒的に多くなっています。合計買付金額で見ると、一般NISAが約26兆円に対し、つみたてNISAは未だ2兆円強。つみたてNISAはまだ規模が小さいということもわかりません。しかし、前調査（2022年3月）からの買付増加率を見てみると、一般NISAが2.6%増に対し、つみたてNISAは16.7%増。特に若い年代ほど増加率は高く、20代では20%増となっています。若い世代にはコツコツ資産形成の考え方が広がってきているようです。



? マネークイズのコーナー

スポーツしていますか？週1回以上、スポーツをしている人の割合はどのくらいでしょうか？

- 1 71.7%
- 2 56.5%
- 3 30.4%



(答えは裏面にあります！)

📣 今月のお知らせ

冬至は1年で最も昼が短く、それ以降太陽の力が強くなることから、運気が上がり始める日とされています。そこで、名前に「ん」がつく食べ物を食べると良いと言われています。蓮根、銀杏、人参、金柑、寒天、南瓜(=かぼちゃ)、うどん(=うどん)は、冬至の七種(ななくさ)と言われています。



コラム サブスク、管理できていますか？

モノやサービスの使用权を購入し、毎月一定額の料金を支払うサブスクリプション (subscription/サブスク)。音楽や動画配信サービス、有料アプリ、商品の定期購入など、何かしら利用している人も多いのではないのでしょうか？契約も簡単なので、ついつい増えてしまいがちなサブスク。一つ一つはそれほど大きな額ではないものの、塵も積もれば山となります。まずは自分がどのようなサブスクを契約しているのか一覧を作成してみましょう。そして、しっかりと中身を精査し、不要なサブスクは年内に解約してしまいましょう。

2022年6月に特定商取引法が改定され、電子商取引 (EC) の通信販売取引に対する規制が強化されています。ECサイトの最終確認画面等に①分量、②販売価格、③代金の支払時期・方法、④商品の引渡時期、⑤申込期間がある場合は『申込期間 (期限のある場合)』、⑥契約申込の撤回、解除に関する事項、などの表示が義務付けられました。消費者が誤認するような表示は禁止され、誤認されるような表示をしていたり、記載しなければいけない事項が記載されていなかった場合には、消費者は取消権を行使することができるようになりました。便利なサブスクを楽しく利用するためにも、契約条件や解約方法を確認してから契約するというのも自衛の一つです。そして、万が一トラブルにあったときには、早めに「188」消費者ホットラインに相談しましょう。



A マネークイズの答え

正解：2

スポーツ庁の調査によると、週1回以上運動・スポーツをする人の割合は全世代平均で56.5%。一番運動をしている世代は70代で71.7%。していない世代は30代で50.7%でした。

これから寒くなりますが、できるだけ体を動かしていきたいですね。



編集後記

今年のヒット商品は
ヤクルト 1000/Y1000

巣ごもり消費のヒットの主役が「時短」から「癒やし」にシフトし、今年大きな山を築いたのが「睡眠の質向上」でした。「きちんと眠って心身を回復させたい」と感じる人が潜在的に増えていた。そこで、入手困難で入荷時には争奪戦が繰り返されるほどだった「Yakult1000/Y1000」。「熟睡しすぎて悪夢を見るらしい」という噂が拡散したこともあり、爆発的に売れたそうです。

発行

確定拠出年金の導入なら さくらコンフォートライフ

資産運用でご相談のある方は、お気軽にお電話ください。

お問い合わせは 090-1238-8418 (鈴木) まで！

